別添－３

**ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））計画書**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック欄 | 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 適用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 |  |  | １．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量２．トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた起工測量３．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量４．その他の３次元計測技術を用いた起工測量　〔４．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　〕 |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ICT 建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない |
| □ | ③ICT建設機械による施工（選択） | 路面切削工 |  | １．３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械※施工管理システムを搭載した建設機械とは、施工中の路面切削機の作業装置位置及び切削深さ（高さ）をリアルタイムに計測・記録する機能を有する建設機械のこと。※採用については、受注後に選択できる。 |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理（選択） | 出来形 |  | ※③ICT建設機械による施工において、施工管理システムを搭載した建設機械を用いた施工を選択した場合、下記に示す方法により施工管理を実施する。1. 施工履歴データを用いた出来形管理
2. 地上写真測量を用いた出来形管理

※採用については、受注後に選択できる。 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  |

【内容】

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については「熊本市ＩＣＴ活用工事（舗装工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用してもよい。

注３）①において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にあるタイプ①を採用すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ全活用 | ＩＣＴ一部活用 |
| タイプ① |
| １）３次元起工測量 | ○ | ○ |
| ２）３次元設計データ作成（必須） | ○ | ○ |
| ３）ＩＣＴ建設機械による施工 | ○ | － |
| ４）３次元出来形管理等の施工管理 | ○ | － |
| ５）３次元データの納品（必須） | ○ | ○ |